

(様式第2号)

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	18	課題区分	B	令和4年(2022年)3月31日	
横断的な課題	体験と交流を軸とした広域的な観光振興の推進 令和元年東日本台風災害からの復旧・復興						
地域重点政策						長野地域振興局	
実施機関	長野建設事務所、須坂建設事務所、千曲建設事務所			担当課	所属	須坂建設事務所	
事業名	復興支援のための土木施設を活用した観光情報発信事業			担当課	電話	026-245-4493	
					E-mail	<a href="mailto:suzakaken-seibi@pref.nagano.lg.jp">suzakaken-seibi@pref.nagano.lg.jp</a>	
事業の概要	目的 (目指す姿)	長野地域の土木施設を観光資源として情報発信することにより、観光の誘客を図り、災害の復興支援に繋げる。					
	現状と課題	令和元年の東日本台風で長野地域には千曲川の氾濫により甚大な被害が発生した。このため、古来より、千曲川流域の人々の暮らしを支え、人や物資の往来を支えてきた地域の象徴である橋梁について、長野地域の観光資源として情報発信することにより、観光の誘客を図り、災害の復興支援に繋げる必要がある。 また、県建設部では、「県民との共感と対話」の県政を推進するため、公共事業等建設行政に対する理解を深めるとともに、地域を支える建設産業の魅力と重要性を発信するなどの広報活動に積極的に取り組んでいる。一方で、建設産業は若手入職者の減少や高齢化の進行等により、将来的な担い手の確保、育成が喫緊の課題となっている。					
	内容 (変更後の内容)	長野地域を流れる一級河川千曲川には、小布施橋をはじめ、県内における長い橋トップ5の橋が架かっている。このような特徴のある橋梁(土木施設)について、架設の経過や年代が異なる多様な構造等を橋カードやカードファイルを作成して紹介することで、若い人達が土木への関心を持つきっかけとなるとともに、県民の公共事業に対する理解を深めてもらう。					
事業期間	R3.4		～	R4.3			(単位:円)
事業費等	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	復興のための土木施設を活用した観光情報発信事業	橋カード(12橋)の作成 (須坂・長野建設事務所管内)	109,560	12,000部 × 8.3円 × 1.1			
		カードファイルの作成 (上記橋カード用)	156,200	1,000部 × 142円 × 1.1			
	合計		265,760				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	橋カード配布枚数12,000枚		6,000枚	—	○ 達成		
					○ 一部達成		
					● 未達成		
事業実績・成果	【実績】 ・実施計画に則り、須坂・長野建設事務所管内の12橋の橋カード及びカードファイルを作成。 ・コロナ禍において、建設部が取り扱っている各種カードの配付中止等を踏まえたカード作成スケジュールに関する協議・調整に不測の日数を要し、結果的にカード等の納品が年度末となり、配布に係る準備が整わなかったため、次年度から配布を行うこととした。						
	【成果、今後の展開】 ・復興のための情報発信に繋がる、カードの配付は実施できていない。 ・次年度において、地元市町村と連携し、橋カードをきっかけとして地域の復興・振興に繋がるような配布方法を検討し、あわせて戦略的な広報を行い、年間6,000枚の配布を目指す。						
今後の方向性	・次年度のできるだけ早い時期に配布を開始し、観光客の誘致と地域振興に繋げる。						